



仁淀川町 防災ハザードマップ

避難のタイミング 命を守る !

気象状況や災害の状況に応じて、仁淀川町では住民のみなさんがとるべき避難行動を「避難情報」として発令します。

「警戒レベル4 避難指示」が発令されたら危険な場所から全員が避難しましょう。



「警戒レベル」での避難のタイミングをお伝えします。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報	情報発信源
5 災害発生又は切迫	既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。		緊急安全確保	仁淀川町が発令
4 災害のおそれ高い	災害が発生する危険が高まっています。速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。		避難指示	
3 災害のおそれあり	避難に時間を要する人(高齢者、障害者、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は、避難の準備をしましょう。		高齢者等避難	
2 気象状況悪化	避難に備え、ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認しましょう。		大雨・洪水注意報	気象庁が発表
1 今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高めましょう。		早期注意情報	

※身の危険を感じたときは警戒レベルにかかわらず避難してください。

1. 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。

警戒レベル5「緊急安全確保」の発令を待ってはいけません！

(※町が災害状況を確実に把握できるものではないことから、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。)

2. 「避難勧告」は廃止されました。これからは警戒レベル4「避難指示」で危険な場所から全員避難しましょう。

3. 避難にかかる時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3「高齢者等避難」で危険な場所から避難しましょう。

避難のポイント 命を守る !

避難情報だけでなく前兆現象や雨の状況から危険を感じたら早めの避難！！

- ! 警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、危険な場所から避難しましょう。
- ! 避難先は小中学校・集会所だけではありません。安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。
- ! 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

※緊急時に身を寄せる避難先は、町が指定する「指定緊急避難場所」や、安全な親戚・知人宅など様々です。

普段からどこに避難するかを決めておきましょう。

※災害が落ちていた後に、自宅が被災し、帰宅できない場合には、しばらく避難生活を送るため「指定避難所」に行きましょう。

「災害時における要配慮者」、「避難行動要支援者」について 知る !

「災害時における要配慮者」とは、高齢者、障害者、けが人、子ども、外国人など、危険の察知や迅速な行動が困難な人で、災害時の避難行動等において、特に配慮を要する人の事を言います。

「避難行動要支援者」とは、要配慮者のうち、災害が発生し、または発生のおそれがある場合に、自ら避難することが困難で、円滑かつ迅速な避難の確保を図るために特に支援が必要な人のことをいいます。

重要 地域が一体となって、安否確認や避難所への移動など、要配慮者への支援にご協力をお願いします。

指定緊急避難場所、指定避難所、指定福祉避難所について

指定緊急避難場所とは 災害の危険から逃れるための場所です。

指定避難所とは 帰宅できない方々が一定の期間、避難生活を送るための施設です。

指定福祉避難所とは 指定避難所では避難生活が困難な、高齢者や障害者、妊婦など、特別な配慮を要する方々を対象に開設される避難所です。

土砂災害（特別）警戒区域について 覚える !

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

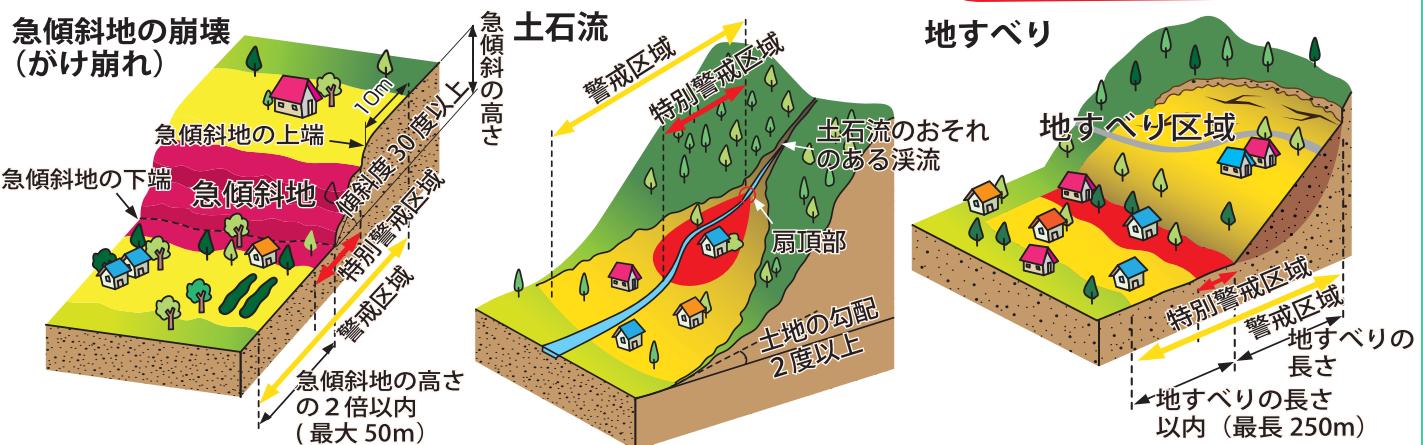
土砂災害が発生した場合、住民の生命や身体に危険が生じるおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害が発生した場合、住民の生命や身体に著しい危険が生じるおそれがある区域

▲ 自宅が警戒区域等に含まれているか、裏面の「仁淀川町防災ハザードマップ」や「高知県防災マップ」ホームページを見て事前に確認しておきましょう。

高知県防災マップ <http://bousaimap.pref.kochi.lg.jp>



南海トラフ地震臨時情報について

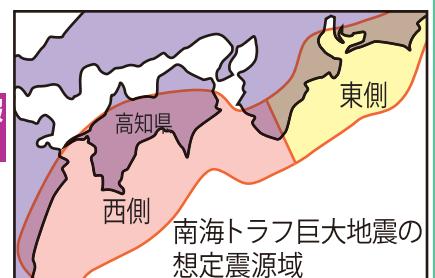
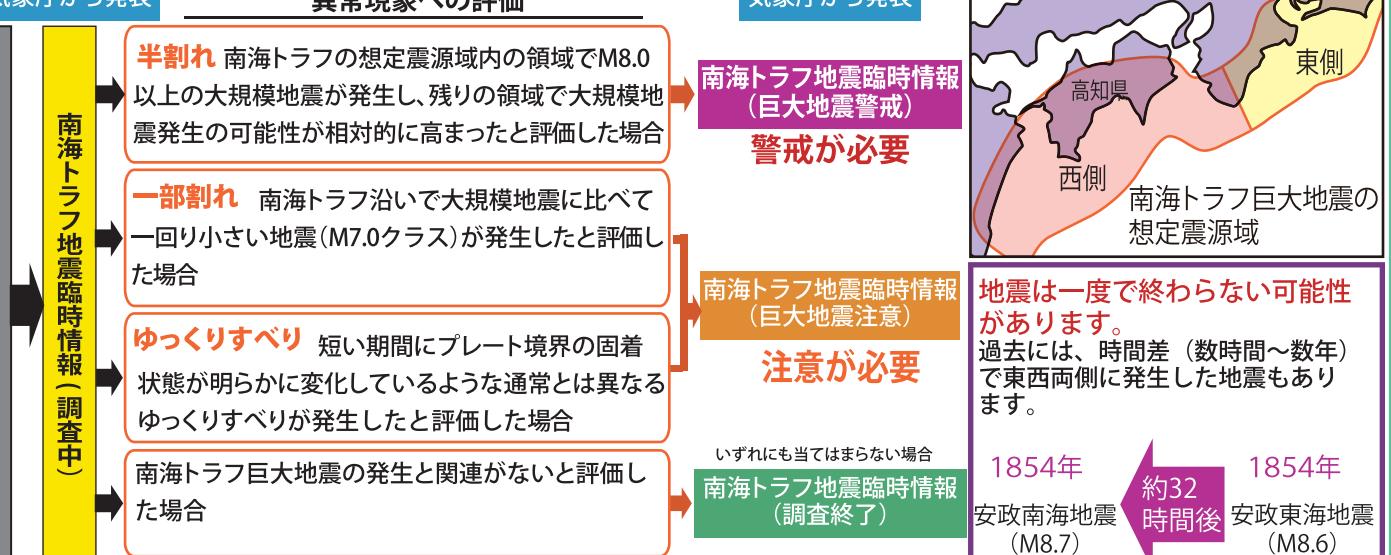
覚える !

南海トラフ沿いの大規模地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合などに、「南海トラフ地震臨時情報」や「南海トラフ地震関連解説情報」が気象庁から発表されます。呼びかけに応じた防災対応をとりましょう。

気象庁から発表

異常現象への評価

気象庁から発表



地震は一度で終わらない可能性があります。
過去には、時間差（数時間～数年）で東西両側に発生した地震もあります。

1854年 約32時間後 安政南海地震 (M8.7)
1854年 安政東海地震 (M8.6)